

異文化間理解

多極化するグローバル社会に飛び込み、異文化と触れ合う
様々な実践を通じて、今という時代を身をもって理解します。

多極化するグローバル社会を生きる

経済的にも大きな成長を見せる
ユーラシア地域を体感。

成長著しい中国やインド、ロシアといった国々はもちろんのこと、シンガポール、マレーシア、インドネシアなどの活気あふれるアジア諸国、そして西欧とアジアをつなぐ位置にあり、今、経済的にも大きな成長を見せ始めたトルコなど、Bunkyo GCI はユーラシア地域の盛り上がりに着目。ユーラシアの異文化のなかに身を置いての研修を1年次から行うなど、理論だけでなく実践で時代を理解することを大事にしています。



世界経済の議論にユーラシアも参加。

先進国だけの「G7」として開催されてきた財務大臣・中央銀行総裁会議が
今では 20 カ国・地域の「G20」として開催されています。新たに加わった多くの国はユーラシア地域の国々です。

1998年まで

G7: Group of Seven (先進7カ国)

日本
フランス
アメリカ
イギリス
ドイツ
イタリア
カナダ

1999年～

G20: Group of Twenty (主要20カ国・地域)

日本
フランス
アメリカ
イギリス
ドイツ
イタリア
カナダ
欧州連合(EU)
ロシア
トルコ
中国
韓国
インド
サウジアラビア
インドネシア
オーストラリア
メキシコ
ブラジル
アルゼンチン
南アフリカ

※本学でいう「ユーラシア地域」とは、東欧～アジアまでの地域を指しています。

日本のアイデンティティーを
再確認し、世界に発信する。

古代文明の発祥から、世界史の中心的な舞台として栄えていたユーラシア地域。近現代は、アメリカや西欧が世界を主導するようになっていましたが、今ふたたび、時代の流れはユーラシアに向かっているようです。私たち日本人の文化も、シルクロードをたどって伝来した豊かな文化を取り込んで発展しており、ユーラシアの国々には私たちにも息づくDNAがあります。Bunkyo GCI は、異文化に触れながら、同時に日本のアイデンティティーをあらためて世界のなかで見つめ直し、確立していきます。



Close Up 注目の授業

Point 語学・異文化理解留学

異文化を体験する海外留学・研修を1年次から行います。研修先はアジアを中心に、希望する国で2週間から4週間かけて行います。あえて英語圏でない国の大学で英語を学ぶことで「グローバル英語」を理解し、その地域の文化体験、世界遺産見学や現地学生との交流および現地の日系企業・団体などの訪問といった、密度の濃い異文化体験を通じて、グローバル社会で生きるといったことはどういうことかを体得します。参加者全員に5万円または10万円の学習支援費を給付するスカラシップ制度を設けています。



新・文明の旅 特講

外に向かって日本を発信し、多様な情報をキャッチし、新たな創造ができる人間形成を目指し、2012年からスタートさせている「新・文明の旅」プログラム。3年に1度、ユーラシアの国々に実際に足を運び、同世代の学生と交流しながら自己と日本を発信するもので、第1回派遣生は2012年3月、トルコ、ブルガリア、ルーマニアを訪問しました。次回は2015年にバルト三国を訪問予定で、その後はロシア、インド、中国及び近隣諸国、そして日本まで学びのリレーを繋ぐ予定です。その事前学習として行われるのが「新・文明の旅 特講」です。訪問予定国を様々な視点から調べ、比較文化研究を行ったり、各国の大使館、企業、大学との事前交流イベントを企画、開催したりと、ワークショップ型で行われる授業です。

新たなグローバル化の潮流

多文化共生社会で大切なのは対話です。この授業ではグローバル人材に求められる対話力について、「言語・文化・コミュニケーション」という総合的観点から考え、ディスカッションなどを交えながらその能力育成の訓練を行います。

